

RWPPI、Computex Taipei 2005*¹でラウンドロビンテスト*²セミナーを開催 より多くのメーカーに互換性テストへの参加を期待

RWプロダクツ プロモーション イニシアティブ(略称RWPPI、代表:相澤宏紀)は、5月31日より台湾の台北市で開催されるComputex Taipei 2005の会場において、台湾で2回目となるラウンドロビンテストセミナーを開催します。セミナーは、6月2日午後3時30分よりTWTC(Taiwan World Trade Center)の展示ホール1、2F ルーム5において行なわれます。今回のセミナーは、記録型DVD市場において成長著しい台湾において、RWPPIのラウンドロビンテストの活動内容・成果をアピールし、より多くの台湾メーカーに互換性テストへの参加を呼びかけるものです。

当日は、ラウンドロビンテストに関する活動内容の紹介、2004年9月より今年3月まで行われたRDVDC(記録型DVD会議)の互換性ワーキンググループとの共同互換性試験(Stage-4)のテスト経過・結果レポートに加え、今後のテストの実施計画が紹介される予定です。また、ラウンドロビンテスト活動の推進母体であるRWPPIの活動内容についても本セミナーにおいて紹介いたします。

合計49社が参加したこの共同互換性試験(Stage-4)では、以下のような検証結果が得られています。

- (1) DVD-RW/DVD-Rディスクと対応ライターの記録物理特性に関して、ディスクメーカー23社、32モデル、及びライターメーカー12社、12モデル間で、合計120項目の試験を行い、安定した記録品質が確保されている事を確認しました。
- (2) DVD-RW/DVD-R対応ライターに関して、10社、10モデル間にて合計148の確認項目の論理互換性試験を実施、参加モデル間での記録・再生互換性を確認し、同時に参加メンバーの規格に関する共通理解を一層深めることができました。
- (3) DVD-RW/DVD-R対応レコーダー、及びPCオーサリングソフトに関して、13社、13モデル間での記録・再生・編集機能28項目(ビデオモード:NTSC/PAL、VRモード:NTSC)にわたって高い互換性を確認しました。
- (4) DVD-RW/DVD-R対応プレーヤー、ドライブ、及びPC再生ソフトウェアに関して、合計22社、45モデルにより、上記(3)で録画されたディスクを使用し5項目での再生互換性評価を行い、広範な環境下での再生互換を確認しました。

今回の台湾セミナーについて、TRIA(台湾記録メディア工業会)の議長であるGorden Yeh氏(Ritek社CEO)は、「このようなディスクや記録再生機器間での互換性を検証するRWPPIのラウンドロビンテスト活動は、拡大するDVD市場にとって必要不可欠な活動と言えます。特に台湾でこのセミナーが実施されることの意義は大きく、より多くの台湾企業が参加することにより、業界全体にこの活動が広がることを期待します。」と語っています。

RWPPIは、今後の記録型DVD市場のメインサプライヤーとなる台湾からの更なる参加企業を得て、DVD-RW/DVD-R関連機器間での記録・再生互換性をさらに高めることで、今後のDVD市場全体の発展

のため、積極的に貢献して参ります。また、現在進めている共同互換性試験は、今後開発される一層の高倍速メディアに対しても継続して行って参ります。

●RW プロダクツ プロモーション イニシアティブ<<http://www.rwppi.com>>

RWPPiは、DVD-RW/DVD-R規格に基いた関連製品の市場における円滑な普及・促進を目指しています。2000年5月に発足以来、DVD-RW/DVD-R製品に関する会員各社とのジョイントプロモーション、各種標準仕様の提案やハードとディスクの互換性の確保などの活動を通じて、お客様の満足度の向上を図っています。

*1 Computex Taipei 2005: 5月31日から6月4日まで台湾の台北市で開催される東南アジア最大のPC/ITショー。

来場者13万人以上、世界100カ国から1,400社・2,850ブースが出展予定。

*2 ラウンドロビンテスト: DVD-RW/DVD-R 関連のメディア・機器・PC ソフトとの間の記録・再生互換性の向上を図る目的の互換性テストの実施、運営を行っているグループ。現在、RDVDC とのジョイントで互換性テストを実施しており、参加社は業界最大規模。

<報道関係からのお問い合わせ先>

RW プロダクツ プロモーション イニシアティブ事務局

<https://www.pioneer.co.jp/rwppi/contact/index-j.html>

<付録> 今回の共同互換性試験に参加したメーカー (50音順)

アルパイン株式会社、インタービデオジャパン株式会社、株式会社 AMC、SKC Co.,Ltd、MJC(SINGAPORE) PTE LTD、LG 電子ジャパン株式会社、Optodisc Technology Corporation、オリオン電機株式会社、Gigastorage Corporation、株式会社ケンウッド、サイバーリンク株式会社、三星電子株式会社、三洋電機株式会社、CMC Magnetics Corporation、シナノケンシ株式会社(Plextor)、シャープ株式会社、ソニー株式会社、太陽誘電株式会社、ティアック株式会社、TDK株式会社、株式会社デノン、東芝サムスンストレージ・テクノロジー株式会社、Nan Ya Plastics Corporation、日本電気株式会社、日本ビクター株式会社、New Star Digital Japan Co.,、New Star Digital Co., Ltd. NewSoft Technology Corporation、Nero、パイオニア株式会社、パナソニック コミュニケーションズ株式会社、Princo Corporation、Prodisc Technology Inc.、株式会社日立 LG データストレージ、株式会社日立製作所、日立マクセル株式会社、株式会社ビー・エイチ・イー、富士写真フイルム株式会社、船井電機株式会社、パナソニック四国エレクトロニクス株式会社、松下電器産業株式会社、三菱化学メディア株式会社、三菱電機株式会社、Moser Baer India Ltd、ヤマハ株式会社、ユーリードシステムズ株式会社、RITEK Corporation、Lead Data Inc. UmeDisc Ltd